

九州地区の7年5月住宅着工戸数

前年同月比36.1%減の3,830戸、大分県は7.6%増

国土交通省がまとめた令和7年5月の住宅着工統計によると、九州地区の住宅着工戸数は前年同月比36.1%減の3,830戸で、床面積は同36.3%減となっている。県別の住宅着工戸数は前年同月比で福岡県が45%減、佐賀県が18.1%減、長崎県が15.2%減、熊本県が39.7%減、大分県が7.6%増、宮崎県が49%減、鹿児島県が28.5%減となっている。

新設住宅着工戸数(令和7年5月、令和6年5月)

都道府県	戸数・件数(戸・件)			床面積の合計(㎡)		
	令和7年5月	令和6年5月	前年対比(%)	令和7年5月	令和6年5月	前年対比(%)
福岡	1,577	2,868	55.0	124,257	218,223	56.9
佐賀	221	270	81.9	18,223	23,767	76.7
長崎	440	519	84.8	33,704	33,935	99.3
熊本	571	947	60.3	40,871	74,800	54.6
大分	327	304	107.6	25,164	28,065	89.7
宮崎	209	410	51.0	18,943	37,487	50.5
鹿児島	485	678	71.5	40,113	56,641	70.8
九州地区計	3,830	5,996	63.9	301,275	472,918	63.7
沖縄	406	804	50.5	35,005	53,805	65.1
山口	259	448	57.8	23,048	38,464	59.9
全国計	43,237	65,923	65.6	3,333,425	5,202,204	64.1